

矢部高校通信

令和6年9月13日(金)

文責：校長

棚田復興ボランティア



食農科学科の1年生は、毎年、棚田復興ボランティアに参加しています。春には田植えも体験しましたが、地域の稻作や農業、そして、国宝になった通潤橋の恩恵やその環境の維持の大切さについても学んでいます。地域の方々との交流もとても貴重な経験となっています。この取組みは新聞にも取り上げていただきました。

学校評議委員の活躍

本校の学校評議員でもあり、山都町棚田復興プロジェクト代表をされている下田様が熊日賞を受賞されました。このように地域農業や学校のことを考えている方の受賞は嬉しい限りです。私も祝賀会に出席させていただきました。同席したテーブルに知事や町長もおられたので、矢部高校についてもお話しすることができました。あらためて、この地域における農業や林業など地域産業の大切さと高校のつながりの必要性を再認識しました。



学校から見えた虹



本校の農場長が学校の農場から見えた虹を撮ってくれました。皆さんは、この写真を見てどのように感じますか？ 私には、豊かな自然に囲まれた矢部高校に、未来に繋がる二重の架け橋が架かったように見えました。

現在、県の教育委員会では、有識者による「県立高校あり方検討会」が開かれています。10月には山都町で意見交換会が開催され、来年の今頃には、大まかな方向性が示されると思います。地域に必要な学校であり続けたいと思います。

九州農業教育研究大会

九州内の農業関係高校の校長や先生方の研究大会が沖縄되었습니다。それぞれの分科会で農業教育の現状や課題、新たな取り組みについて発表があり、参考にできる情報も沢山いただきました。また、文科省から最新情報の提供もあり、これからの時代に合った学校教育・農業教育の大切さを実感しました。



表彰式・始業式



学校家庭クラブ、ホームプロジェクト校内発表会

学校家庭クラブ活動は、生活を科学的に探究する方法や課題解決能力を高めます。その取組として、本校でもホームプロジェクトに取り組んでいます。食農科学科2年生の発表会では、家族の好き嫌い対策やフードロス、夏ばて防止など、家庭で取り組んだ内容を一人ひとり発表しました。代表者は県大会に進みます。



八朔祭



地元の大切なお祭りです！矢部高校としても最大限参加します。お祭りのスタートを飾る小一領神社の御神輿をサッカーボールが中心に、大造り物や引き廻しは林業科学科が中心に行いました。今年の作品は「神龍」です。私も審査員で参加しました。とても暑い一日でしたが、ほかの団体にも負けない熱い取組みとなりました。